

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公開番号】特開2004-230150(P2004-230150A)

【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-032

【出願番号】特願2003-296268(P2003-296268)

【国際特許分類】

A 4 7 J 43/10 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 43/10

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月11日(2006.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細長い柄(2)を含む料理用泡立て器(1, 30)であって、
 さらに、概して平面状の実効部(4, 32)を含み、
 前記実行部(4, 32)は、横材(12)が設けられ、前記横材(12)において前記
 柄(2)に接続され、
 前記実行部(4, 32)は、前記柄(2)の軸に垂直な軸周りに旋回動作可能であるこ
 とを特徴とする調理用泡立て器(1, 30)。

【請求項2】

前記実効部(4, 32)は、複数の針金(14, 18)を含むことを特徴とする請求項
 1に記載の調理用泡立て器(1, 30)。

【請求項3】

前記実効部(4, 32)は、概して平面状の針金の環(14)と、前記針金の環の周り
 に伸びる相対的に細い針金のコイル(18)とを含むことを特徴とする請求項1または2
 に記載の調理用泡立て器(1, 30)。

【請求項4】

前記針金のコイル(18)は、前記環(14)の周りでの前記コイル(18)の限定さ
 れた動きを可能にするために、前記針金の環(14)の周りにゆるく巻きつけられている
 ことを特徴とする請求項3に記載の調理用泡立て器(1, 30)。

【請求項5】

前記軸旋回可能な接続は、前記横材(12)において行われていることを特徴とする請
 求項3または4に記載の調理用泡立て器(1, 30)。

【請求項6】

前記柄(2)は、前記柄(2)から伸びた1対の脚部(8)で前記針金の環(14)に
 接合されていることを特徴とする請求項3から5のいずれかに記載の調理用泡立て器(1
 , 30)。

【請求項7】

前記脚部(8)は、前記横材(12)の周りに折り曲げられた折返し端部(10)を含
 むことを特徴とする請求項6に記載の調理用泡立て器(1, 30)。

【請求項8】

前記横材 (12) には、前記脚部 (8) に対して前記針金の環 (14) が横方向に動くことを防止する突起 (16) が設けられていることを特徴とする請求項 7 に記載の調理用泡立て器 (1, 30)。

【請求項 9】

前記針金の環 (14) は、少なくとも 1 つの尖部 (20) を有する形状であることを特徴とする請求項 3 から 8 のいずれかに記載の調理用泡立て器 (1, 30)。

【請求項 10】

前記針金の環 (14) はハート形であることを特徴とする請求項 3 から 9 のいずれかに記載の調理用泡立て器 (1, 30)。

【請求項 11】

前記針金の環 (14) は楕円形であることを特徴とする請求項 3 から 9 のいずれかに記載の調理用泡立て器 (1, 30)。

【請求項 12】

前記針金の環 (14) は三角形であることを特徴とする請求項 3 から 9 のいずれかに記載の調理用泡立て器 (1, 30)。